

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	日高管内情報化推進議員ネットワーク			代表者名	竹中進一
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	会長	連絡先電話番号	0146-47-5331
担当者役職	会長	担当者氏名	竹中 進一	連絡先E-mail	
住所	059-2344 北海道新冠町字太陽				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	新冠町	連絡先部署	企画課		
担当者氏名	佐渡健能	連絡先電話番号	0146-47-2498	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	ICTセミナー		
概要	情報通信技術を地域生活に取込む方策について継続的に議論、討論を行っています。その中で現在のマイナンバー制度とマイナンバーカードの利活用について深く学び、生活の中で活用する具体について学習し、生活のICT化の可能性を探りたい				
支援を求める分野	オープンデータ人材（DX推進のための機運の醸成）自治体システム標準化・共通化 行政手続オンライン化 マイナンバー				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無	178k			
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月21日	講演(実地)	14時00分	16時00分	
				活動時間（分）	120
2-2.	会場名	ピュアプラザ2F研修室		最寄駅	無し
派遣場所	所在地	北海道日高郡新ひだか町御幸町二丁目1-40		最寄駅からの交通手段	車

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	崎山 雅子
評価	よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	プロジェクターを使用し、分かり易い資料提供と参加者に語りかけるような説明口調が理解を深めることになったと思います。また講師ご本人の経験を要所要所に織り込んだ説明は、講演に説得力を増す効果を感じました。
アドバイザーへの要望事項	特にありませんが、もう少し大きな声で講演をした方が高齢者にはよかったです。※参加者からの声ではありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	31人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	16	15		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	北海道日高管内七町のマイナンバーカード保有率は、およそ80%を超えますが、生活の中でマイナンバーカードが活用されている状況にはなく、また活用に向けた動きも見られないのが現状です。今後時間をおくことなく、マイナンバーカードが保険証等の機能を併せ持つことになると思いますが、このような社会情勢に誰もが距離を置いている状況にあると感じています。マイナンバーカードをはじめとするデジタル社会への移行に係る危機感が圧倒的に欠けていることが大きな問題と考えています。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	まずは、崎山講師の経験に裏付けられたICT技術の活用、そして今後訪れるデジタル社会の具体を参加者に認知していただき、生活、仕事、経営などの場面で活かすための行動の起点になるセミナーになればと考えます。参加者が即座に活用できることは困難と考えますが、将来的な必要性について実感を持ってもらうことが大きな一歩であり、成果と考えています。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	以下に列挙します。 ・マイナンバーカードの可能性 ・生活上の利便可能性 ・業務に活かすことができるデジタル技術あれこれ	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	参加者全ての方から感想・意見を聞き取ることはできませんでしたが、セミナー最後の質疑応答は制限時間を超える質疑があり、参加者の意欲は高いと感じました。また多くの役場職員が参加しており、事後感想を聞き取った中では、「業務への即座の活用は困難と考えるが、将来的には必ずデジタル業務は増加すると感じた。」、「デジタル技術の導入で働き方改革が推進されると感じた。」、「リスクリングの1つとしてデジタル講習の必要性を実感した。」などがあり、本セミナーに触発された参加者が存在します。上記のとおり「デジタル社会到来に対する危機感の欠如」を課題・問題と考えていた主催者としては1つの成果を得たとの思いです。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	デジタル社会の到来を実感し、ICT技術の取り込みに向き合いに検討を始めるきっかけづくりのセミナーになったといえます。参加者の中には、デジタル知識の獲得を強く求めるようになった参加者が存在します。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 上記のとおり聞き取り調査を行っています。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
4-4. 事業の最終的な目指す姿	さまざまな機会を見つけ、日高管内情報化推進議員ネットワーク主催のセミナーを開催していきたい。次年度においても当該支援制度によるセミナーの開催を希望しています。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	だれもが情報通信機器を活用することで都市部と郡部との情報格差を解消させることが最終的な目指す姿です。壮大な目標と言えますが、当議員ネットワークは地方の情報化の最終目標として設定しています。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可 掲載不可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

